

生活福祉資金貸付制度について

〈生活福祉資金貸付事業を取り巻く状況〉

- 昨年の世界的な金融危機に端を発した雇用不安



今後、失業者、低所得者が急増する見込

- 平成19年4月に取りまとめられた「多重債務問題改善プログラム」
 - ・ セーフティネット貸付の一つとして生活福祉資金が位置づけられている

等

〈生活福祉資金貸付事業の現状〉

- 貸付件数、金額は、近年、減少又は横ばい傾向

(参考)平成19年度貸付決定状況

件数:11,191件 金額:11,844,156千円

- 都道府県ごとの取組にばらつきが見られる

等

生活福祉資金のさらなる活用促進が必要

そのためには…

- 本制度の趣旨及び昨今の資金需要を十分に理解し、その機能、役割が十分果たされるよう、積極的な広報を通じた周知徹底等積極的な活用促進をお願いしたい。

- 適切な貸付決定、償還の確保を図るため、窓口となる市区町村社会福祉協議会の相談体制の強化が必要。そのため、市区町村社会福祉協議会に相談員を配置する取組を支援するので、積極的に活用いただきたい。